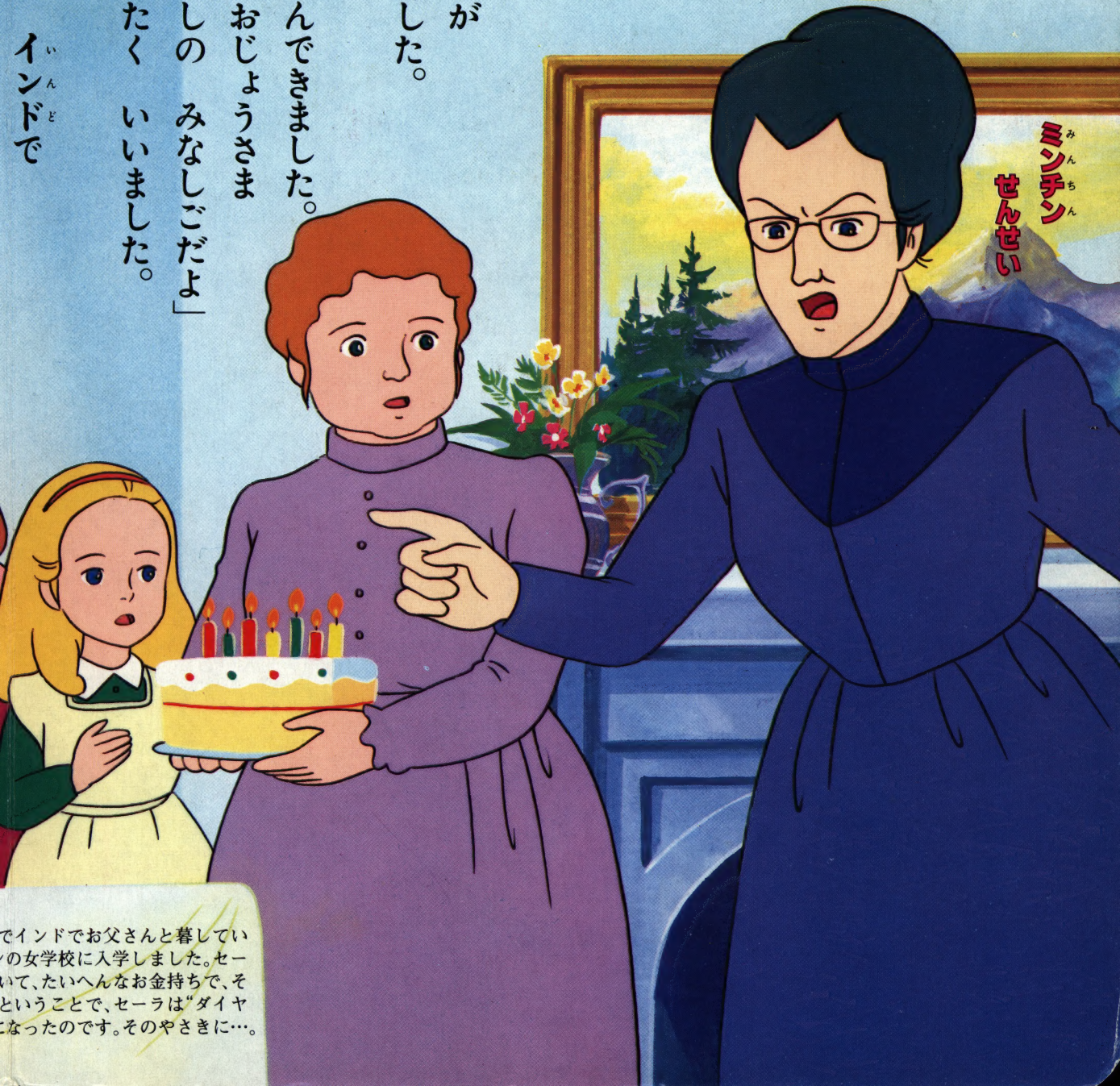
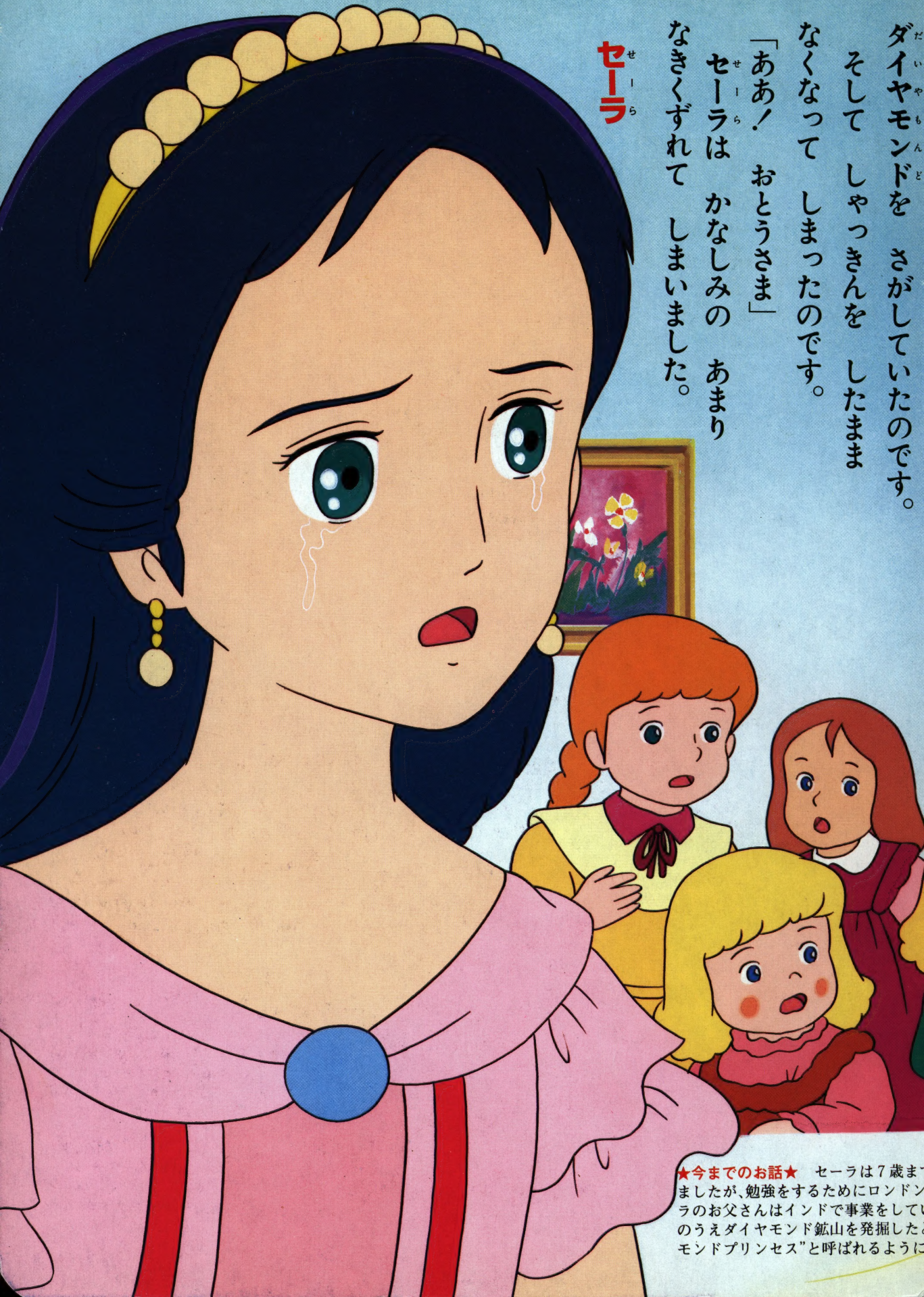
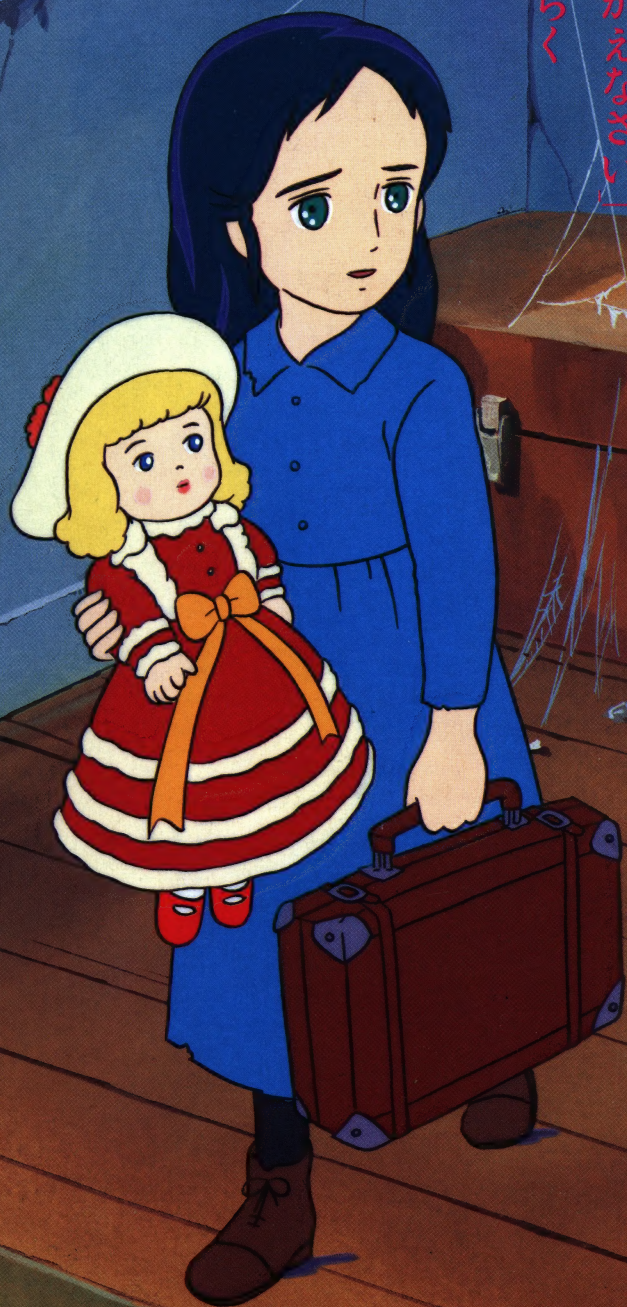
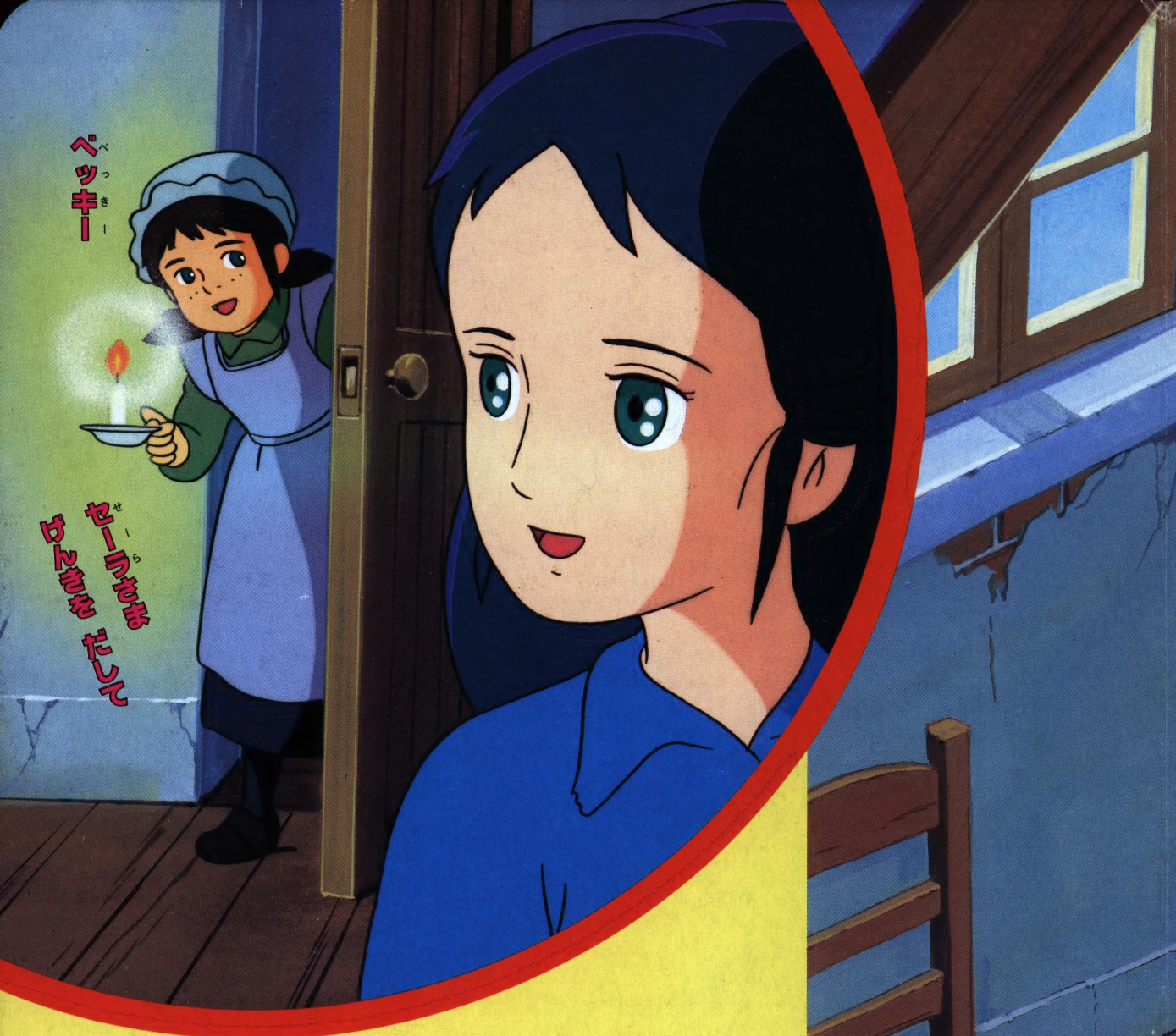
テレビえほん
小公女セーラ
2
ひかりのくに

きょうは　セーラの
たんじょうびです。
ケーキを　やいて、みんなが
パーテイを　ひらいてくれました。
その　ときです。とつぜん
ミンチンせんせいが　かけこんできました。
「セーラ、おまえは　もう　おじょうさま
なんかじゃない。いちもんなしの　みなしごだよ」
ミンチンせんせいが　つめたく　いいました。
セーラの　おとうさんは
ぜんざいさんを　つぎこんで　インドで

でインドでお父さんと暮してい
の女学校に入学しました。セー
いて、たいへんなお金持ちで、そ
ということで、セーラは“ダイヤ
なったのです。そのやさきに…。

ダイヤモンドを　さがしていたのです。
そして　しゃっきんを　したまま
なくなって　しまったのです。
「ああ！　おとうさま」
セーラは　かなしみの　あまり
なきくずれて　しまいました。
セーラ
★今までのお話★　セーラは７歳ま
ましたが、勉強をするためにロンドン
ラのお父さんはインドで事業をしてい
のうえダイヤモンド鉱山を発掘した
モンドプリンセス”と呼ばれるように

よくの　ふかい　ミンチンせんせいは
セーラを　メイドとして　がっこうで
はたらかせることに　しました。
「セーラ　おまえの　へやは
やねうらべやだよ。ふくも
メイドの　ふくに　きがえなさい」
　やねうらべやは　くらく
あれほうだいでした。

くらい　やねうらべやで
セーラは　ねられず
ふるえていました。
　そこへ
「セーラさま
げんきを　だしてください」
メイドの　ベッキーが
あかりを　もってきて
くれました。
「ありがとう　ベッキー。
これで　あんしんして
ねることが　できるわ」

つぎの　ひから
セーラは　ベッキーと　いっしょに
だいどころで　はたらき　はじめました。
「セーラ　もっと　ちからを　いれて
よーく　みがくんだよ」
メイドがしらの　モーリーが
うるさく　どなります。
セーラは　はを
くいしばって
ゆかみがきを
つづけました。
ベッキーが
しんぱいそうに
セーラを　みています。
「ベッキー、
しんぱいしないで。
わたし　がんばるわ」
セーラは　こころの　なかで
ベッキーに　こたえました。

モーリー

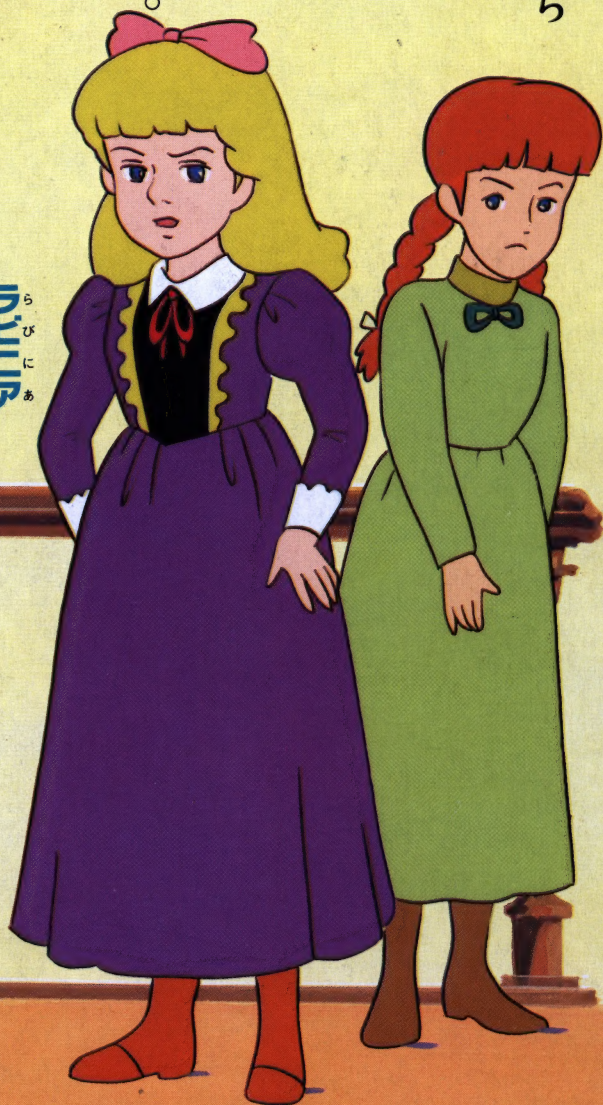
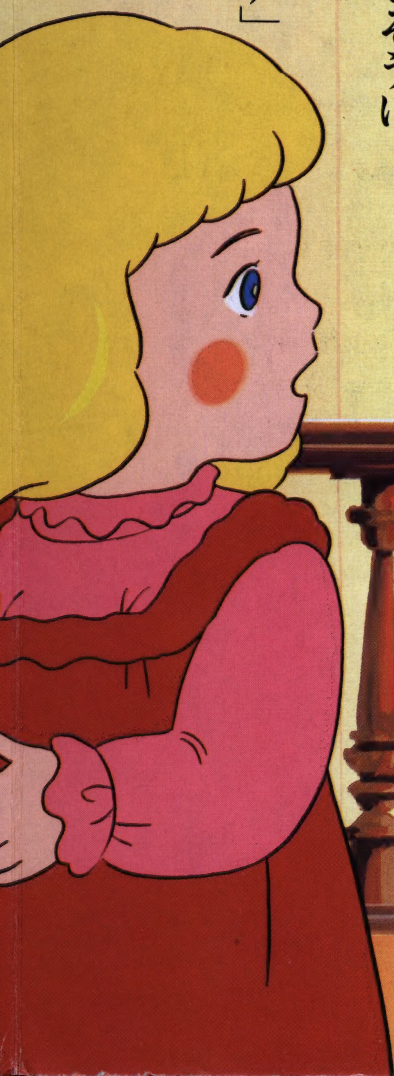
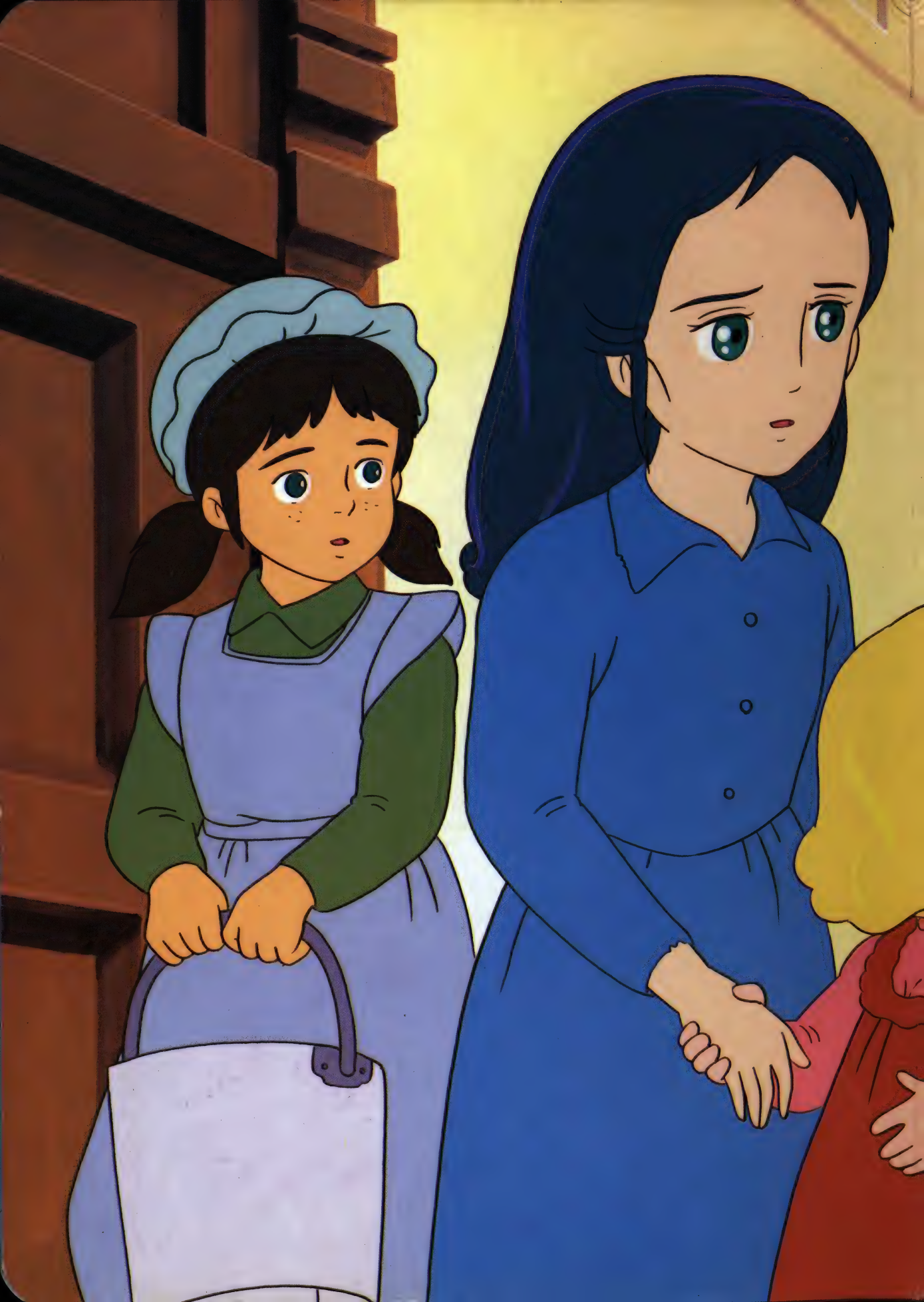
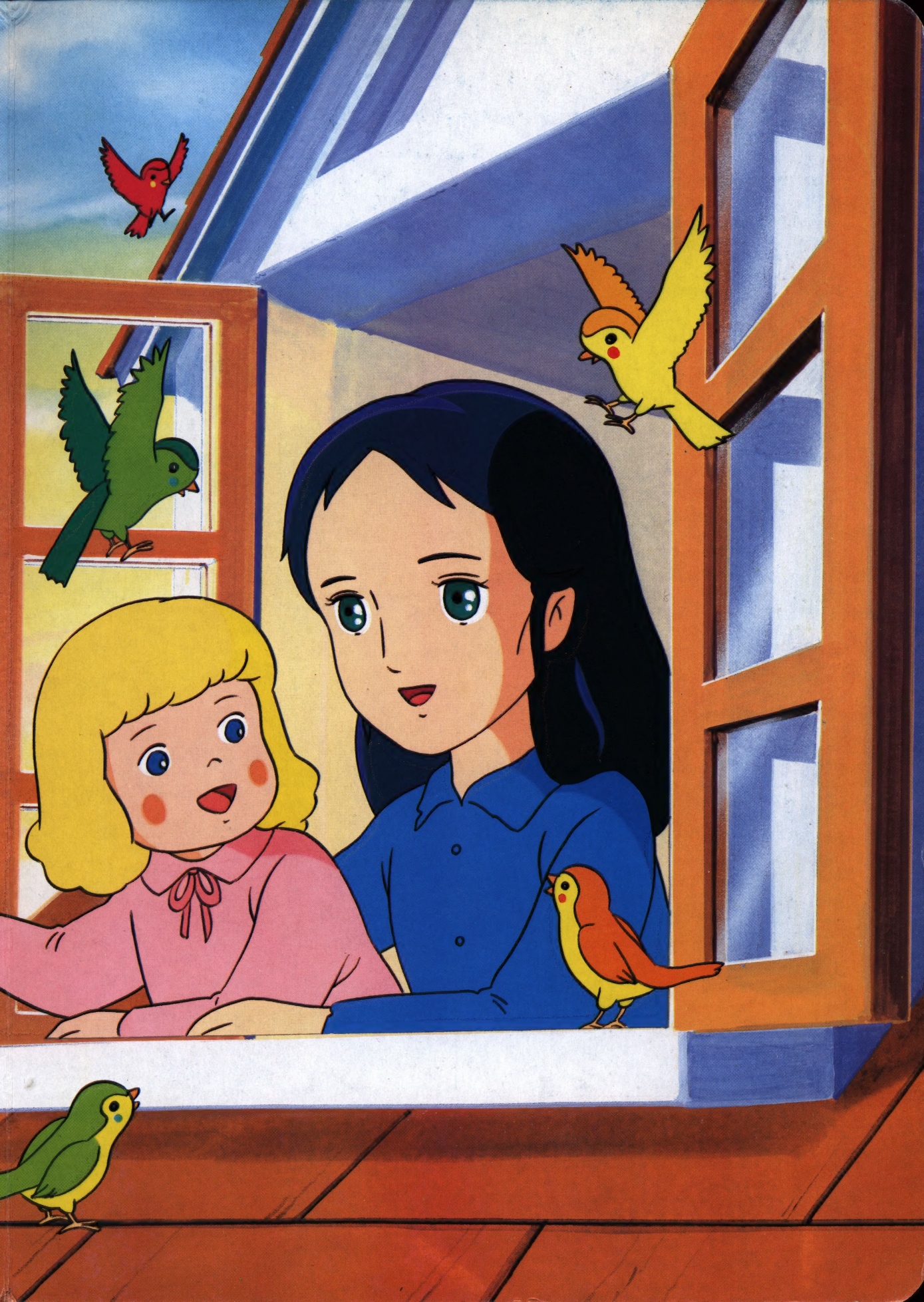
「ゆかみがきが　おわったら
つぎは　かいものだよ！」
モーリーさんに　いわれて　セーラは
いちばへ　やってきました。
けれど、どこで　なにを
かっていいのか　わかりません。
セーラは　こまって　しまいました。
そんな　ところへ　ともだちの
ピーターが　とおりかかりました。
「セーラおじょうさま、ぼくが
かいものを　てつだって　あげますよ」
「ピーター　ありがとう。
これで　モーリーさんに
しかられずに　すむわ」

ピーター

セーラは　まいにち
あさ　はやくから
よる　おそくまで
いっしょうけんめい
はたらきました。

ある　ひ、
「わぁ、セーラママだ。
ねぇ　あそんで！」
あまえんぼうの
ロッティが　セーラを　みつけて
とびついてきました。

「ロッティ！　こっちへ　きなさい。
セーラなんかに　ちかづいては　だめよ！」
ラビニアが　いじわるそうに
いいました。

「ひどいわ！　ラビニア」
ロッティは
ぷんぷんです。

その　よる
セーラが　へやで　かなしんでいると、
ロッティと　ベッキーが
こっそり　やってきました。
「まぁ　ロッティ　どうしたの？」
「こんやは　セーラママと
いっしょに　ねるの。
これ　おみやげよ。たべて」
ロッティは　うれしそうに
ポケットから　ビスケットを
とりだしました。
ロッティの　ことばに
セーラは　とても
うれしくなりました。
「ありがとう　ロッティ」

つぎの　ひの　あさです。
セーラが　まどを　あけると
ことりが　たくさん
あつまってきました。
「わぁ　いいな。ことりさんも
セーラママの　おともだちなの？」
ロッティが　びっくりしています。
「ええ　そうよ。いつも　こうして
はげまして　くれるの。
それに　わたしには
ロッティや　ベッキーが
いてくれるもの。
げんきを　ださなくちゃね」
セーラは　こころが
とても　あかるくなりました。